

思春期と成人期を見すえて…

発達障害の方の 育ちについて

子どもを社会の中核にすえた国の少子化対策が打ち出されています。そこには、時代の変化に、制度や法律を平行させていく難しさが見えます。今回は、長らく医療の現場で、障害児支援に関わってきた講師の方から、思春期・成人期を見すえた親・支援者の関わり方・注意点、また親の会の役割、親御さんの役割について学びます。

講師：岩佐 光章 氏

- 2005年より、横浜市総合リハビリテーション発達精神科で、障害のある方の暮らしと心のケアを担う
- 2022年より、横浜市西部地域療育センター長
横浜で、幼児から青年に達した障害のある方々に、暮らしの目線で向きあい続けて今日に至る

主催：横浜障害児を守る連絡協議会
横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター

後援：横浜市心身障害児者を守る会連盟

日時：2024年 **12月5日**(木)
午前10時15分～12時30分 9時45分開場

会場：障害者スポーツ文化センター
横浜ラポール 2階 ラポールボックス
(横浜市港北区鳥山町 1752)

申込み期間：11月5日(火)～11月29日(金)

会場定員：100名 ■ 参加費：無料

裏面に申込書があります 締切 11月29日(金)

お問合せ

横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター 担当：笹目・田村・山田
電話：045-681-1211 FAX：045-680-1550